

2025 年度事業計画

NPO 法人三段峡ー太田川流域研究会

1 全体の方針

2025 年度は、前年度の「旺盛」な活動の成果を「結実」させる年とし、事業の自立と組織の継続性確立を最重要目標とする。特に、ビジターセンター LOUPE、カフェ、エコツアーといった収益事業の強化を通じて、財政基盤の安定を図る。同時に、さんけんの根幹である環境保全・調査研究・人材育成・地域づくり事業も継続・発展させ、各事業が連携し、持続可能な活動体制を構築することを目指す。

計画は 2024 年度に培った LOUPE/カフェ運営、エコツアー開発・販売、多様な主体との連携といった事業面での成長を土台としていく。これらの収益事業を強化することで、組織の自立に向けた財政基盤を確立し、環境保全や人材育成といった社会貢献活動を無理なく継続・発展する組織を目指す。100 周年事業は、これらの活動を広く知ってもらう絶好の機会ととらえ、各担当理事やスタッフ、協力隊、そして多様なパートナーとの連携を密にし、2025 年度の目標「結実」を実現することを目指す。

■取り組みの概要（しらべる＝リサーチ）/環境保全事業・研究事業・観光事業

①「三段峡野外博物館プロジェクト」

（目的）

三段峡憲章の理念の実現と三段峡の本質的な価値を向上に寄与する。同時に調べ続けることで、知見をいつでも活用できる状態を維持する。また三段峡の来訪者に対して三段峡の魅力を伝える取り組みをする。

（目指す成果）

最終アウトカム：三段峡や地域の資源の価値が向上を続けるループが構築される。

今年度のアウトプット：LOUPEおよびカフェを持続可能な収益の柱とし、来館者数と売上を増加させる。

活動	概要	担当	財務	アウトプット
ビジターセンターの活用	三段峡にしかない土産物を開発する	瀬尾淳 本宮曜	寄付 売上	売上20万円
環境保全	三段峡内の植物の調査	本宮宏美 小林久哉 さんけん植物部 広大さんけん部	寄付	三段峡図鑑への掲載 写真データの蓄積
	オオサンショウウオの生態調査	本宮炎	パタゴニア環境プログラム	オオサンショウウオの調査10回
	ヤマセミの保全、生態調査、人口巣穴の設置	佐藤亜紗	サントリー愛鳥基金	さんけんヤマセミ部活動 月1回



情報発信	SNSを活用した三段峡の情報を発信する	小林久哉 本宮宏美		日常的な情報発信 さんけんFBページ・インスタグラム等 原色三段峡図鑑FBページ・インスタグラム等
------	---------------------	--------------	--	---

②「旧派溪谷の逆襲プロジェクト」

（目的）

三段峡は2025年に名勝指定100周年を迎える。文化的研究を続ける中で、三段峡に限らず大正期に名勝指定された「溪谷」の価値の低下が明らかになった。名勝指定100周年を一つのターニングポイントに、改めて「溪谷」の文化的価値を問い直し、今後の100年に向けた文化的ブランディングの基盤をつくる。

（目指す成果）

最終アウトカム：三段峡で南峰時代の文化が体験できる。

今年度のアウトカム：カフェの売上が128万円になる

（実施概要）

活動	概要	担当	財務	アウトプット
ビジターセンターの活用	三段峡の名水を活かしたカフェを開設する	佐藤亜紗 松尾俊孝	売上	年間売上128万円
栃餅の継承	栃餅の製造を記録する	大崎壮巳	オリーブ基金	全国トチノキ学ネットワークでの発表もしくは参加
名勝100周年事業	記念講座の開催 三段峡の来訪者数を記録する	本宮宏美	寄付金 参加費	講座の開催4回
三段峡清掃	三段峡の整備や小径木を整備する	松尾俊孝	三段峡同業組合寄付金	実施回数4回
聞く会	三段峡に関係するオーラルヒストリーや資料を収集する	松尾俊孝	寄付金	実施回数2回

■（つたえる=インタープリテーション）/人材育成・観光事業

③さんけん自然塾プロジェクト

（目的）

子供同士が学び合う自然塾の持続的な運営体制を構築する。学んだ子供が教える側に、教えた子供は地域の自然を守るフィールドワーカーになり、「地域の自然を守り、見つめる人材が育ち続ける」を目標にする。

（目指す成果）

最終アウトカム：地域のフィールドワーカーが育成され、地域の環境を保全する活動が継続する。

今年度のアウトカム：次の世代の講師が成長し、世代交代が可能になる。

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
さんけん自然塾	中高生が講師となる自然体験プログラムを提供する	瀬尾淳 本宮炎	参加費	実施回数年4回
自然遊び縁	未就学児と家族を対象に自然体験イベントを提供する。	本宮宏美	参加費	実施回数年3回
地域の研究サポート	地域の自然科学の調査・研究を支援する	本宮炎 大崎壮巳	会費・寄付	研究発表1回

④エコツーリズム推進プロジェクト

エコツーリズムの推進により、持続可能な地域観光の確立について貢献する。

(目指す成果)

最終アウトカム：三段峡の自然資源が守られながら観光が両立した持続可能な観光が行われている。

今年度のアウトカム：ツアー事業が成長する仕組みができる。

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
委託事業としてのエコツアーの造営	委託を受けエコツアーを造成・実施する	本宮炎 小林久哉	委託費	ひろしま地球環境フォーラム 1回 太田川流域振興交流会議 2 回
ツアープログラムの販売促進	新しいツアープログラム（三段峡欲張りコース・アドベンチャーコース・溪流つりコース）を販売する。 インバウンド対応ツアーを販売する	井上嵩裕 本宮炎	事業収益	SNSでの発信週1回 WEBサイトの改修 売上100万円

■（つなげる=ファシリテーション）/地域づくり事業・友の会運営事業

⑤みんなでつくる流域社会プロジェクト（ネットワーク事業と地域づくり事業を統合）

ファシリテーションを活用した地域マネジメントの実施をし、地域内でのお互いを補い合う協力関係と地域外との連携を強め、豊かな流域社会の実現へ貢献する。

(目指す成果)

最終アウトカム：さんけんがゲートウェイとなり、多様な主体が地域資源の活用を行う。

今年度のアウトカム：活動のパートナーの加わりやすい活動ができる。

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
あきおたの楽しい100人	地域の人々のプレゼンテーションを聴く会を開催する	本宮宏美	助成金	実施回数 6 回



さんけん
NPO 法人
三段峠・太田川流域研究会

環境パートナーひろしまへの参加	県内の環境団体が集まる組織での活動を実施する	本宮炎	寄付金	理事会総会への参加 事業への参加3回
水源の森の再生	地域事業者と協力してトチを中心とした溪畔林の再生をする	本宮炎 大崎壮巳	オリーブ基金	種の採取1回 種まき1回 気温データログの設置
大学との連携	広大さんけん部などの大学生との連携を促進する。 広島修道大学、鞆啓大学の学生ボランティア受け入れを継続し、活動への参画を促す。	大崎壮巳	助成金	広大さんけん部の活動6回

⑥さんけん100年化計画（組織基盤強化）

さんけんが次世代に引き継げる組織となるために、ブランド力と組織基盤を強化する。

（目指す成果）

最終アウトカム：次世代に渡せる組織になる。

今年度のアウトカム：さんけんへの活動の訴求力が増す。

（実施概要）

活動	概要	担当	財務	アウトプット
さんけん新聞	毎月1回の会報を発行する	尾崎秀司	寄付金	発行回数12回
研修への参加	組織基盤強化のための研修に参加する	本宮宏美	寄付金	参加回数2回
さんけんPR	活動を広め、支援者の獲得をする	佐藤亜沙 本宮曜 本宮炎	寄付金	サイトの再構築 支援募集アイテムの作成
企業版ふるさと納税活用	安芸太田町が実施する企業版ふるさと納税にエントリーする	瀬尾淳 佐藤亜沙	寄付金	1社

II、事業別計画表＜県提出書式＞

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	事業費の予算額 (単位：千円)
1.環境 保全 事業	101「環境保全」 生態系の保全のための活動をする	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民	1060 (郵貯助成25万 サントリー助成 80万)
	102「環境調査」 生態系保全のためのモニタリングをする	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民	20
	103「環境整備」 生態系や景観保全ための補助路を整備する	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民	120 (10万委託有)
2.研究 事業	201「歴史・文化」 三段峡の歴史や文化の研究をする	通年	三段峡	5人	太田川流域住民	60 (前30↑百周年 用ジャミン)
	202「植物」 歩く会などを実施し植物の調査・研究をする	4月～12月	三段峡 深入山 津浪	10人	太田川流域住民	60 (さんけん植物 部・ジャミン)
	203「動物」 歩く会などを実施し昆虫等の調査・研究をする	5月～11月	三段峡 深入山	12人	太田川流域住民	130 (ジャミン10万)
3.観光 事業	301「インタープリテーション」 さんけんツアーの開発やガイド育成を実施する。研修等に参加する。	4月～11月	三段峡 深入山	10人	太田川流域住民	30
	302「イベント・ツアー企画運営」 さんけんツアーやイベントの企画や実施を行う	4月～11月	三段峡	10人	太田川流域 事業者	40 (3万助成金予 定)
	303「ビジターセンター」 三段峡交流館にてビジターセンター展示の素材を収集する	6月～3月	交流館	10人	センター来訪者	900 (電気代5万、 仕入2万5)
4.地域 づくり 事業	401「ファシリテーション事業」 「FMC／(みんなでまろく向上委員会)」の運営をし、地域活性化を話し合う	通年 随時	筒賀社会 福祉協議 会会議室	3人	安芸太田町民	30

	402「事務局委託」 さんけんの目的に沿うプロジェクトの依頼を受託し実施する。「あきおおたの楽しい100人」	通年 2カ月に1回	安芸太田町内	5人	安芸太田町民	110 (NPO 倶楽部より10万)
	403「会議出席」 さんけんの目的に沿う会議への参加依頼を受託し出席する	随時	安芸太田町内	5人	安芸太田町民	40
	404「地域連携」 地域内や都市と中山間地域の連携を促進する	通年 随時	安芸太田町内	3人	全国	30
5.人材 育成事業	501「教育プログラム開発」 自然体験学習・環境教育・ふる里学習のプログラムを開発する	通年	三段峡 深入山 龍頭峡	10人	広島県民 全国	30
	502「教育プログラム実施」 子供達への教育プログラムの実施（さんけん自然塾）	6月～11月	三段峡	5人	広島県民	1650 (自然塾・自然あそび 縁参加費30・ドコモ 助成110 郵貯助成 25)
	503「教育機関等を対象とした教育プログラムの実施」 町外の子供達への教育プログラムの実施	7月～12月	三段峡 深入山 龍頭峡	100人	志屋小学校 芸北小学校 鶴学園 広島県民	870 (70万県7 万市 10万鶴 より委託)
	504「研修への参加」 さんけんの組織強化および目的達成のための技能習得のための研修への参加を行う	随時	広島市内 等	10人	さんけん メンバー	50
6.情報 発信及 び 出版事業	601「さんけん情報発信」 さんけん新聞・HP で情報発信する	通年	三段峡	6人	三段峡に関心のある人	100
	602「三段峡情報発信」 SNS などを活用して三段峡の情報を発信をする					
	603「三段峡 web 図鑑」発信 SNS などを活用して生き物の情報の発信をする	通年	三段峡	6人	生き物に興味ある人	30 (50↓)
7.友の 会運営 事業	701「会員サービス」 会員へ毎月広報や季節の写真など四季の情報を届ける	通年	三段峡	10人	広島県民など	10

	702「会員募集」 さんけんの入会案内、会員獲得 イベントなどを実施する	通年	三段峡	10 人	全国民 太田川流域住民 三段峡に興味のあ る人	6 0
	703「寄附獲得」 寄附獲得のための事業を実施 する	通年	三段峡	10 人	太田川流域住民	3 0
8.エネ ルギー 事業	今年度実施予定なし			0 人	太田川流域住民	1 0